

はじめに

本報告書は伊丹市まちづくり基本条例第13条に基づいて実施する行政評価の結果報告書です。

また、地方自治法第233条第5項に基づく令和5年度伊丹市一般会計及び特別会計歳入歳出決算にかかる主要な施策とその成果について報告するものです。

伊丹市まちづくり基本条例 第13条第1項

市は、効率的かつ効果的に市政運営を行うとともに市政に関して市民に説明責任を果たすため、その実施し、又は実施しようとする施策及び事務事業の評価を行うものとする。

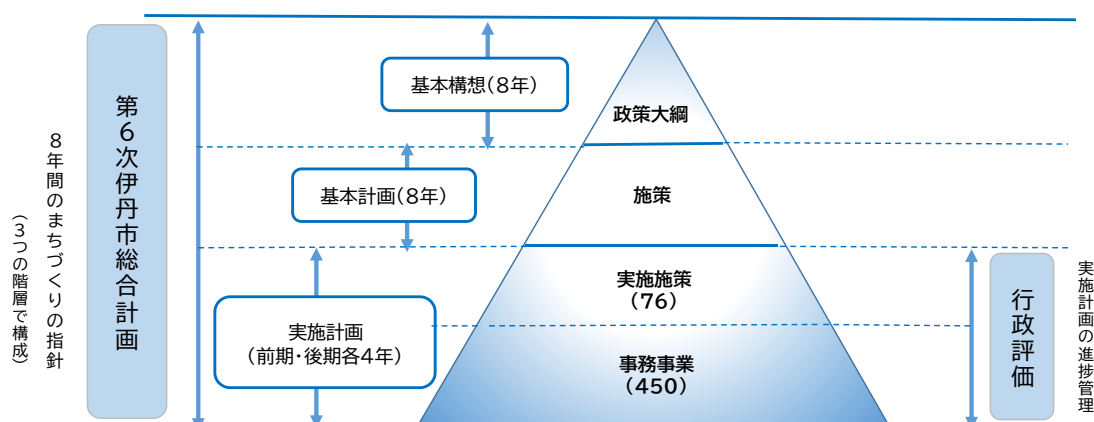
地方自治法 第233条第5項

普通地方公共団体の長は、第3項の規定により決算を議会の認定に付するに当たっては、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類その他政令で定める書類を併せて提出しなければならない。

(1) 行政評価の目的

行政評価は、効率的かつ効果的に市政運営を行うとともに、市政に関して市民に説明責任を果たすために実施しており、第6次伊丹市総合計画の政策大綱と施策の体系に位置付けた76の実施策、約450の事務事業を対象にしています。また、前期実施計画に位置付けた実施施策や事務事業の進捗を管理する役割もあり、令和5年度行政評価では、令和5年度の実施策や主要な事務事業の取組内容とその成果などを示しています。

行政評価と総合計画の関係



(2) 第6次伊丹市総合計画の実施施策体系

実施施策の体系

《将来像》 人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹

政策大綱 【基本構想】	施策 【基本計画】	実施施策 【実施計画】	政策大綱 【基本構想】	施策 【基本計画】	実施施策 【実施計画】
1 安全・安心	1-1.災害対策	111)災害発生時の支援体制整備 創生	4 市民力・にぎわい・活力	4-1.市民力・地域力	411)市民活動団体等の活性化 創生
		112)災害に対応できる基盤整備		4-2.都市ブランド	421)都市ブランド戦略の推進 創生
		113)浸水対策の推進		4-2.都市ブランド	422)中心市街地のにぎわい創出 創生
	1-2.消防・救急	121)消防体制の強化		4-3.歴史・文化	431)文化財・郷土資料の保護と活用
		122)火災予防対策		4-3.歴史・文化	432)芸術・文化活動の促進 創生
		123)救急活動体制の向上		4-4.商工業	441)商店街の活性化
	1-3.交通安全・地域防犯	131)交通安全対策の推進 創生		4-4.商工業	442)中小企業等の起業・経営支援 創生
		132)地域防犯力の強化 創生		4-4.商工業	443)地域産業の振興と企業活動支援 創生
		133)消費生活窓口の充実		4-5.都市農業	451)都市農業の基盤強化
				4-5.都市農業	452)農作物の生産・流通の推進
2 育ち・学び・共生社会	2-1.子育て・子育て	211)子どもの虐待防止体制の整備	5 環境・都市基盤	5-1.環境保全	511)環境保全体制の整備と啓発推進 創生
		212)子育て家庭への経済的支援		5-2.循環型社会の形成	512)環境美化と公衆衛生の向上
		213)ひとり親家庭への支援		5-2.循環型社会の形成	521)3Rの推進とごみの適正処理
		214)子ども一人ひとりに応じた発達支援		5-3.公園・緑地・生物多様性	531)緑地の推進および生物多様性の保全
		215)子育て・家庭教育の支援 創生		5-3.公園・緑地・生物多様性	532)公園緑地の整備・保全
	2-2.青少年の健全育成	221)子どもの居場所づくりと自立支援 創生		5-4.都市計画・住環境	541)建築物の安全・安心の確保
		222)子どもの見守りネットワークの整備		5-4.都市計画・住環境	542)適正な土地利用と景観まちづくりの推進
	2-3.幼児教育・保育	231)幼児教育・保育の充実 創生		5-4.都市計画・住環境	543)公営住宅の適正管理
		241)知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成 創生		5-5.交通・道路	551)安全で快適な交通手段の確保
	2-4.学校教育	242)教育相談・支援体制の充実		5-5.交通・道路	552)市バスサービスの充実
		243)特別支援教育の推進		5-5.交通・道路	553)道路橋梁の整備・保全
		244)教職員の資質向上		5-5.交通・道路	554)道路安全対策の推進
	2-5.教育環境	251)学校を支える組織体制の整備	6 参行 政と 協働 ・ 創生	5-6.水道・下水道	561)水道施設の整備保全
		252)安全・安心な教育環境の充実 創生		5-6.水道・下水道	562)下水道施設の整備保全
	2-6.生涯学習・スポーツ	261)多様な学習機会の提供 創生		6-1.参画と協働	611)参画協働のまちづくり
		262)図書館サービスの充実			612)市政情報の積極的な提供と共有
	2-7.人権	263)生涯スポーツが楽しめる環境整備			621)情報通信技術を活用した行政運営 創生
		271)人権教育・啓発の推進		6-3.行財政運営	631)効果的・効率的な行政サービスの提供
	2-8.男女共同参画	281)男女共同参画の推進			632)人材育成
		282)DV防止対策の推進			
	2-9.多文化共生・平和	291)多文化共生・平和の推進			
3 健康・医療・福祉	3-1.健康づくり	311)健康づくり支援の推進 創生			
		312)各種疾病等の早期発見と予防			
		313)正しい健康知識の普及啓発 創生			
	3-2.地域医療	321)医療保険事業等の健全な運営			
		322)地域基幹病院の医療の充実			
	3-3.地域福祉	323)救急医療体制の整備			
		331)地域福祉活動の支援			
		332)地域福祉支援体制の整備			
	3-4.高齢者福祉	333)生活困窮者への自立支援			
		341)高齢者の健康・生きがいづくりと介護予防			
		342)高齢者の生活支援			
	3-5.障がい者福祉	343)介護サービスの充実			
		351)障がい者の権利擁護と相談支援体制の整備			
		352)障がい者の地域生活支援体制の整備			

創生

地方創生の対象とする実施施策

※本市における地方創生の取組は「第6次伊丹市総合計画」に包含しており、地方創生の具体的な施策や、施策の成果を適切に評価するため、20の実施施策を位置づけています。

(3) 評価シートの見かた

施策評価

大綱 1 安全・安心
施策 11 災害対策
実施施策 111 災害発生時の支援体制整備
評価部局：総務部 関連部局：消防局

実施施策の目標

〇〇〇について△△△を行う。

令和5年度の計画

〇〇〇について△△△を行う。

令和5年度事後評価

☆☆☆

評価の理由

〇〇〇〇のため

成果

〇〇〇が増加した。

課題

〇〇〇を行う必要がある。

令和6年度での対策・対応

〇〇〇を行う。

令和5年度評価

[高]☆☆☆☆~[低]☆

令和5年度の計画の達成状況からみた4段階の評価結果を記載。

評価部局・関連部局

施策の評価部局、関連部局は令和6年4月1日現在の組織名を使用。

成果・課題・令和6年度での対策・対応

施策実施後の成果と課題を見直し、評価結果を令和6年度中の対策・対応にどう活かしていくのかを記載。

事務事業の内訳

成果指標

①	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	基準年度				
				R元	R3	R4	R5	
①	避難行動要支援者支援制度同意者数(人)	↑	避難行動要支援者支援制度対象者のうち、個人情報等の平時からの自治会等への提供について、同意した者	目標	3,800	2,800	3	
				実績	3,786	×××	×××	×××
②	災害協定等協力団体・事業所数	↑	協定締結やいたみ災害サポート登録を行った事業所・団体の累積数	目標	125	130	135	
				実績	119	×××	×××	×××
③	防災訓練等参加者数(人)	↑	総合防災訓練、水防訓練等何らかの防災訓練参加者数の合計人数(総合防災訓練は隔年実施)	目標	2,000	1,600	2,200	
				実績	2,212	×××	×××	×××

事務事業コード	事務事業名	R4(千円)		R5(千円)		款項目	担当課
		事業費	人件費	事業費	人件費		
111010	危機管理施策推進事業	×××	×××	×××	×××	09 01 05	危機管理室
111020	災害見舞金支給事業	×××	×××	×××	×××	03 06 01	警防課/危機管理室
111030	災害協定・サポート登録制度活用事業	×××	×××	×××	×××	09 01 05	
事業費合計(千円)		R4		R5			
		×××		×××			

主要事業については主要事業シートを作成

事業の概要や成果を図や写真などを交えて示す。

111111

〇〇啓発事業

【事業概要・成果】

令和〇年度に△△を実施し、××人の参加があった。

図、表、写真など

成果指標

事業を実施した結果、もたらされる成果を測る指標。

前期実施計画期間(R3~R6)の目標値と実績値を記載。

事業費・人件費

予算費目(款・項・目)

他の決算資料と対照できるように、予算費目を掲載。

※企業会計は「企業」

特別会計は「特別」

人件費は年間1人当たり平均人件費(退職金引当金繰入額含む)に投入人員をかけて積算。

当該年度に実施していない事務事業は、事業費・人件費欄を「―」で示す。

-5-

評価の結果概況

(1) 対象の実施策・事務事業について

令和5年度(2023年度)は、第6次伊丹市総合計画前期実施計画の3年目の評価です。行政評価の対象実施施策数は76、事務事業は438でした。庶務的な事務を除く、市が行っているほぼすべての行政活動を網羅しています。

(2) 施策評価について

第6次伊丹市総合計画前期実施計画における実施施策の目標の達成に向けた成果を定量的に計るために、指標ごとに目標値を設定しています。

評価にあたっては、成果指標の結果だけでなく、成果指標だけでは計れない、取り組み内容や実績等を取り入れた、総合的な評価としています。

① 全体傾向

※【 】内の番号=実施施策番号

6つの政策大綱ごとの目標達成度を表したものが表1です。目標達成度について点数化し(☆☆☆☆=4点、☆☆☆=3点、☆☆=2点、☆=1点)、平均値を出しています。総合的な平均値は3.2であり、全体としては、ほぼ目標が達成されています。前年度に比べ達成度が高くなった大綱は、「4.市民力・にぎわい・活力」(+0.1ポイント)、前年度に比べ達成度が低下した大綱は、「1.安全・安心」(-0.2ポイント)、「6.参画と協働・行政経営」(-0.2ポイント)でした。

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが、5月に5類へ移行したことから、様々な施策において、イベントをはじめとする多くの事業活動が再開しました。

表1 政策大綱別に見た施策の目標達成度

政策大綱	達成度	☆☆☆ 施策の進捗が大幅に遅れ、目標が達成できなかった	☆☆ 施策の進捗が遅れが見られ、目標が十分達成できなかった	☆☆☆ 施設目標はほぼ達成できた	☆☆☆☆ 施策目標は十分達成できた	施策数	☆の数(平均)
1 安全・安心		0	1	3	5	9	3.4
		0%	11.1%	33.3%	55.6%	100.0%	
2 育ち・学び・共生社会		0	0	17	4	21	3.2
		0%	0%	81.0%	19.0%	100.0%	
3 健康・医療・福祉		0	0	12	2	14	3.1
		0%	0%	85.7%	14.3%	100.0%	
4 市民力・にぎわい・活力		0	0	13	0	13	3.0
		0%	0%	100.0%	0%	100.0%	
5 環境・都市基盤		0	1	10	3	14	3.1
		0%	7.2%	71.4%	21.4%	100.0%	
6 参画と協働・行政経営		0	0	3	2	5	3.4
		0%	0%	60.0%	40.0%	100.0%	
合計		0	2	58	16	76	3.2
		0%	2.6%	76.3%	21.1%	100.0%	

② 実施施策の評価結果

※【 】内の番号＝実施施策番号

表2のとおり、「☆☆☆☆」評価となった実施施策は16施策あり、「☆☆」評価となった実施施策は2施策ありました。

評価が高かった実施施策「☆☆☆☆」については、「1. 安全・安心」では、成果指標とした出火率【122】、年間交通事故発生件数、年間の自転車関連事故件数【131】などが、いずれも前年度に比べ低下し目標を達成しました。また、いたみ防災ネット・LINE 登録者数【112】、浸水対策達成率【113】などがいずれも前年度に比べ増加し目標を達成しました。「2. 育ち・学び・共生社会」では、保育所待機児童数【231】が8年連続でゼロを達成し、児童館3館利用者数【221】が増加する等の高い成果がありました。「3. 健康・医療・福祉」では、就労移行・就労定着支援利用者数、グループホーム利用者数【352】などで目標を達成しました。「5. 環境・都市基盤」では、温室効果ガスの総排出量【511】などで目標を達成しました。「6. 参画と協働・行政経営」では、ホームページアクセス数【612】などで目標を達成しました。

他方、評価が低かった実施施策「☆☆」については、「1. 安全・安心」では、消費生活センターが実施する消費生活講座等受講者数【133】、「5. 環境・都市基盤」では、市営住宅入居率、市営住宅家賃・駐車場使用料現年度の徴収率【543】においてすべての成果指標で目標を下回りました。

なお、令和4年度の評価が「☆☆☆」であり、令和5年度に「☆☆☆☆」となった実施施策は、「救急医療体制の整備：【323】」、令和4年度の評価が「☆☆☆☆」であり、令和5年度に「☆☆☆」となった実施施策は、「地域防犯力の強化：【132】」、「教職員の資質向上：【244】」でした。

表2 評価の高かった実施施策（☆☆☆☆）と低かった実施施策（☆☆）一覧

評価の高かった実施施策（☆☆☆☆）	
【112】災害に対応できる基盤整備	【113】浸水対策の推進
【121】消防体制の強化	【122】火災予防対策
【131】交通安全対策の推進	【214】子ども一人ひとりに応じた発達支援
【221】子どもの居場所づくりと自立支援	【231】幼児教育・保育の充実
【252】安全・安心な教育環境の充実	【323】救急医療体制の整備
【352】障がい者の地域生活支援体制の整備	【511】環境保全体制の整備と啓発推進
【542】適正な土地利用と景観まちづくりの推進	【561】水道施設の整備保全
【612】市政情報の積極的な提供と共有	【631】効果的・効率的な行政サービスの提供
評価の低かった実施施策（☆☆）	
【133】消費生活窓口の充実	【543】公営住宅の適正管理

「☆☆☆」と評価された施策においても、施設利用や各種教室、イベントに関する施策は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した影響もあり、令和4年度に比べると全体的に

回復傾向が見られました。就労支援と勤労者福祉の向上、建築物の安全・安心の確保では、令和4年度は「☆☆」でしたが、合同就職面接会参加人数【461】、住宅耐震化促進事業【541】が目標を達成し、「☆☆☆」の評価となっています。

(3) 地方創生臨時交付金事業費の概要

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和5年度は学校給食等食材調達支援事業や公共料金負担軽減事業、プレミアム商品券事業など、市民の生活や雇用の維持、物価高騰による生活の支援に加え、学校園での感染症拡大防止対策などに取り組みました。地方創生臨時交付金事業費の総額は、表3の合計のとおり、約33.1億円となり、うち約1.4億円が市負担（一般財源）となりました。

表3 地方創生臨時交付金事業の事業費(千円)

区分	事業名	決算額
①	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	1,304,557
②	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業	2,003,685
合 計(①+②)		3,308,242

地方創生臨時交付金を活用した主な実施事業は、表4のとおりです。

表4 令和5年度 地方創生臨時交付金事業

1. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 1,304,557 千円 (R4 年度:2,154,745 千円) ・低所得世帯等支援事業(低所得者世帯給付金) ・介護事業所食材調達支援事業 ・障害福祉施設食材調達支援事業 ・公共料金等負担軽減事業 ・プレミアム付商品券事業 ・学校給食等食材調達支援事業 他	2. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業 2,003,685 千円 (R4 年度 -千円) ・非課税世帯等臨時特別給付金 ・低所得世帯(こども加算)臨時特別給付金 ・公共料金等負担軽減事業
--	--

(4) まとめ

令和5年度（2023年度）評価は、第6次伊丹市総合計画前期実施計画の3年目の評価です。5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類となり、3年以上にわたったコロナ禍を乗り越えて社会経済活動が正常化していく中で、実施計画に位置づけた各施策に取り組みました。

実施施策においては、消費生活センターが実施する消費生活講座等受講者数【133】、文化施設等利用人数【422】、伊丹スカイパーク来園者数【471】、においては、目標を下回った状態が続いており、事業の実施手法の検討が必要です。また、市民活動の活発化により、「1. 安全・安心」では、年間交通事故発生件数、年間の自転車関連事故件数【131】などの指標が増加しないように注視するほか、街頭犯罪認知件数【132】の指標が増加していることから、さらなる減少につなげることができるかが課題となります。「3. 健康・医療・福祉」では、健康イベント事業の参加者数【311】の増加に向け周知・啓発を図り、さらなる市民意識の醸成の向上につなげることができるかが課題となります。

令和5年度は、第6次伊丹市総合計画に位置付けられた施策の推進と共に、物価高騰の影響を受けた市民生活の支援や事業者支援に加え、子育て支援や教育をまちづくりの重点施策として子どもを中心に据えた施策を実施した年度でした。